

# 磐城時報

日刊 廿四  
福島縣石城郡平町新田町十四  
印刷 磐城時報社  
發行 磐城時報社  
電話 一四四  
郵政 掛號 第三三三號  
廣告料 一行十四字 日金五十錢  
▲日刊 (日曜、祭日、休日、休刊)

## 四十余日の久しきに亘つた 入山炭礦爭議經過

### 會社側の温情に對して 組合側の爭議的なる卑劣な行動

四十余日に亘つて日本坑夫組合入山支部主唱の下に猛烈と暴力を逞しうした湯本町入山炭礦爭議は去る十九日、入山の労働組合は再び起つ能はざる運動に立ち至つた事は公平なる見地からして地方産業發展上誠に喜ぶべき事であるが、抑々入山炭礦の労働爭議は如何なる經過を辿つてゐるか、左に詳報する。

### 會社を弱いと見て 取りかゝつた爭議

昨年八月頃常磐地方炭礦に労働組合が出現した際之と通謀して入山炭礦労働者數名は資金を調達するため當時相當の積立金を會社側がかくの如き同情ある處宣傳するに坑内が危険であるといふた入山職工共濟會を利用して置いたので組合側幹部は會なし入坑阻止の猛運動を起し争つたが時恰かも入山健康保赤間某に支給する金一封の受領機故障中は仙臺炭礦山監督局の調停會が解散する事となり労働組合は解散する事となり労働組合の計劃は水泡に歸した。之が宣傳紙配布制止を詰問するとかのみ採炭したもので危険蒙るため其積立金處分に關して殊更事ある毎に會社に強要強談、そなく従業員はその事情を知つてに異議を唱へ遂に暴力行為となつた。應接に會社側の苦勞は實に一入坑者も減少しなかつたが、争り入山會社職員は負傷した事當通事ではなかつたが、而も多數議團側では之を嫉視し組合員數を減らすに法律で處罰された。而も隱忍の態度を持し放任して坑口に来り入坑妨害に努め會社入山會社は其家族には大いに同た。然るに四月七日に至り突如員數名は負傷した。其後爭議の情し金三百圓宛を給與した。是會社の煽風機に故障が生ずるや原因であつた煽風機は十七日の時磐城炭礦にも労働運動が組合側では好機至れりとして、至り完全に復舊したので爭議繼

### 檢束されたため 慘敗したと宣傳

この間に於ける組合員は暴行、で強硬な態度が見事成功し爭議煽動、入坑妨害等を公然と實行して少しも憚る處なく殊に五月六日第五坑内にてガス爆發の椿事務部長は語る。事起り十六名が死亡するや組合員は狂喜し相率ひて死亡者の住宅近くに至り萬歳を連呼した事實は有識者が何れも人道上的に驚嘆した程であつたが、かゝる如き人道に悖る不純な行為は永續する筈はなく日時の経過と共に人心は組合より離れ、資金には欠乏し、たゞ虚勢を張つてゐるのみ、爭議團の自滅の徴候は漸やく濃厚になつて來たが組合としてはこのまゝ無爲に爭議を終らせれば常磐地方の組合は全滅の外ない事を憂ひ、憐れにも警官隊に敢て反抗し數名を負傷せしめ百餘名の檢束者を出したの事は爭議を一日も早く打ち切つたためであつたらうとは必ある人の想像してゐる處である。而して十九日午後一時組合では慘敗の宣言書を發表して爭議團を解散したのである。

### 會社側に先手を打たれ 爭議團慘敗か

休業豫告に狼狽した  
王城炭礦爭議

### 申譯がない

吉田事務部長談  
入山炭礦爭議が會社側の飽くま

### 下水工事 豫算に計上

日本労働組合同盟月源次、  
日本坑夫組合加藤勘十郎氏は今平町南町下水道は夏期になると

事情は詳細しませんが、其後組合員は常に會社に對し妨害脅迫的な行動に出で或る野望を達せんと企て遂に今回の事件を起すに至つたのであるが入山會社従業員大部分は彼等の言葉に迷はず終始一貫誠實に會社のため盡力して呉れた。ゆゑ會社の方針が成功し遂に爭議團を屈服せしめた事は「正義は勝つ」と言へば嬉しさに堪へません、之がため會社に常に反抗し損害を蒙つてゐた六十餘名を解雇した事は同情に堪へませんが、善良な多数労働者に迷惑をかけた事です。四十日の間、外は近郷近在の安寧を害した事は恐懼の至り、此間特に直接、間接に御心痛と御同情を賜はつた各位に對し厚く感謝の意を表します。殊に警察官諸君は不眠不休警戒の任に當られた事に對しては、涙を以て御禮を申します。會社では今後一層注意し慎重事に當り今回の如き不詳事は決して起すまいと考へてゐます。

### 妻の家出

江名町大字  
江名字折戸吉妻吉田ひさ(二五)は去る十四日午後十時頃家出今以て行衛不明であるが自殺のたそれがあるや平署に搜索願

### 痴話喧嘩

平町新川町  
佐藤某は一人の子供まである妻はつ子(二二)假名、昨年中家庭の事情から別居しつ子は女中奉公としてゐたがそのうちにはつ子は平町六丁目鈴木某と戀中となり色々噂が立つたので佐藤は憤慨し二十二日はつ子が同町の義兄方に歸つたのを幸ひに散その不心得を責めてゐたところへ丁度鈴木某も來合はせ更に鈴木某の妻も來て話は大きくなり佐藤は、つ子を毆打したので情夫の鈴木は平署に人殺しがあつたと急報したので平署から二瓶刑事出張説諭した。

### 銀行團に 猫八招待さる

今回一道六縣々會役員會に出席した縣會議員一行は會議終了した正午から福島市公會堂に於て開かれた縣々銀行團招待の午餐會に臨み特に猫八出演落語、物まね、獨唱の即席開答並に門弟小猫八の踊、満喜の落語、珍藝一人角力、外種々なる藝を演じ何れも拍手喝采を受け午後一時三十分散會した。

### 四歳の男児が 鮮人に浚はる

赤井村大字江田神田仙太郎方居  
住てる長男川侯一男(四ツ)は去  
る二十一日午前九時頃自宅前  
で遊戯中突然行衛不明となつた  
で大騒ぎとなり、平署に出頭捜  
索方を願ひ出でたが當時労働者  
風の朝鮮人が来り馴れなれしく  
言葉をかけたとの事で朝鮮人を  
調べた處同日土工の金榮魂事林  
金太郎(三五)が浚を晦ましたの  
で同人が浚つて行つたのではな  
いかと調査中である。

#### 見聞録

▼不良學生 ドヤドヤ  
と二三の中學生映寫中  
の二階に上り女學生が  
四五人座つて熱心に寫  
眞を見てゐる背後に座る。  
甲、あの役者はシャヤンだ。俺  
いら西洋婦人を見たと氣がせ  
いせしやうよ。  
乙、モダンガールは駄目か。  
真似をしやうか。

#### 東京株式清算取引高低表

◎第一部		◎第三部	
東株(當)	一四七六	白煉	二八六
東株(中)	一四八三	日七	四七一
東株(先)	一四八七	浅野	七八九
同(先)	一四九九	同	三六四
同(中)	一三三七	同	四九四
同(先)	一三七七	同	七九六
同(先)	一三八〇	同	九四一
同(先)	一三八〇	同	九四一
同(先)	一三八〇	同	九四一

甲、丙「良いね」  
突然前の女學生の一人「嫌だて  
は、この人、さつきからひと  
の足ばかりつかひついて」  
その聲が余り高かつたので三  
人今度はいくらも笑ふかばり  
に申し合せてやうに首を龜の  
子型にする……。

#### 東京商品取引 (五月廿四日前場)

◎米	◎綿糸
一限 五限 六限 七限	一限 二限 三限 四限
二限 三限 四限 五限	五限 六限 七限 八限
六限 七限 八限 九限	九限 一〇限 一〇限
一〇限 一〇限 一〇限	一〇限 一〇限 一〇限

#### 山野邊藥局

代理 山野邊藥局 平町五丁目角

治淋 **ラウタール**

一、其効顯著なるに實驗者は驚く  
二、真に淋病、消渴の特効新藥  
一、悩む苦しむもの直ちに試みよ、必ず救はれん  
定價 三圓也 重症用拾圓


#### 小供麥帽

婦人洋傘

麥一文字帽とワイシャツ

店品洋ヤルツ

【番十四百話電】日丁四平



#### 猫穴

江戶の人物男 世界無類の藝人

各宮殿下御臺覽の榮 英國皇太子殿下「汝は世界の珍鳥」と激賞する。

演藝種目  
落語 落語音曲 掛合 落語手踊 珍珍 鳥獸虫の鳴分け 所作專 高級萬歳 問答 其他數種上演

於 平劇場

#### 故父圓次郎儀送葬の際に遠路之處御會葬被下且つ亦御鄭重なる御香奠を賜り難有奉謝儀一拜趨御禮可申上之處乍畧儀以紙上御厚禮申述候 敬具

昭和二年五月二十四日

男 野野七 野野善七 野野大七 野野久七 野野坂 野野山崎 野野長太

親戚總代 松崎長太郎

#### 五月(武者人形)大勉強

平町三丁目 **陳野洋行** 明店

#### 五月人形

座敷のぼり 小道具一式

いづや 平町二丁目(電話六四九)

#### 御座敷幟ト 武者人形ハ

久月特製品ノヨクテ安イ 加藤幸吉商店

#### 御座敷ノボリ 武者人形

尚武太刀布製紙鯉 外飾物一式 菅野屋

#### 菅野屋

平町四丁目 電話一五七

可愛い金太郎がコヒを持って御待ち申して居ます